



同風

機関紙命名 鵬雲斎大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人 ブロック長 山本修史

ご挨拶
ブロック長
山本 修史

令和三年より近畿第二ブロック長を務めさせていただきます大阪南青年部の山本修史と申します。

平素は大宗匠・お家元をはじめ、ご宗家・総本部の皆様方、各親支部先生・先輩方々には、ブロック諸活動に対し、ご指導ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

また、例年、近畿第二ブロックへの出向者を輩出頂いております各支部親先生方、各青年部の皆様方にもこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

本年度のテーマは『和』人と歴史のつながり』としてブロック事業に取り組んでまいりました。

コロナウイルスの蔓延により、ブロック研修会に関



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

としては、開催すべきかどうかという根本的な判断から始まり、開催するならばリアル開催か、完全オンラインか、もしくはハイブリッド形式にするのか、これまでに検討する必要のないことから考える必要があり、スタッフも非常に苦慮しておりました。

結果、ブロック研修会はオンラインでの開催になりました。

全体研修ではランディー・チャネル宗榮先生より、「水屋の心得」のお話をご講演いただき、とてもユーモア溢れる雰囲気でご講演頂きました。参加者の皆様には和歌山県串本町の儀平様より『わしのしよらさん』というお菓子を事前に皆様へ配送し、各自ご自服する形でオンライン呈茶を行い、オンラインながら皆様と同じ時に同じお菓子と茶を頂き繋がれたひと時でありました。

また、節目となる第十回



のチャリティ茶会に際しても、ぎりぎりまで開催すべきかどうか悩んでおりましたが、夏場の感染状況を考えると、締めくくりにふさわしい茶会を実施することは難しいだろうと判断し、来年に延期の判断をせざるをえず非常にスタッフ一同残念な思いであります。

昨今はコロナウイルスの影響により人とひとのつながりが強制的に分断され、リアル茶会の開催もままならない状況が続いておりますが、そこは青年らしく、様々な方法を模索して諸活動に励んで参りたいと思っております。

これまで通りのご高配並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年度 ブロック協議会

令和三年二月十一日(木・祝)、大阪産業創造館にて開催いたしました。コロナ禍の中、ご来賓として顧問の近畿第二地区副地区長 池田周弘様、近畿第二地区委員長 西川宗進先生にご臨席いただきました。



協議会では、令和二年度の事業報告・決算報告と令和三年度の事業計画・予算案の審議を行いました。すべて承認可決され、滞りなく議事を終えることが出来ました。

今回の協議会では、当日、会場に参加できない会員に對して、リモート機能を使って参加してもらう試みを実施しました。

「三密」を避けると言うことで、呈茶や、歓談の時間を設けることなく、ブロック協議会を終了しました。お忙しい中、ご出席いただきましたご来賓の皆様方には長時間にわたりご同席いただき、心より感謝申し上げます。

令和三年度 連絡会会議

令和三年二月十一日(木・祝)、大阪産業創造館にて開催いたしました。ご出席いただきました皆様ありがとうございました。



令和三年度 近畿第二ブロック研修会

令和三年六月二十六日(土)
オンライン(Zoom)開催

開会式・総本部報告

令和三年度 近畿第二ブロック研修会を全過程オンライン形式で開催いたしました。例年二日間で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一日に規模を縮小して実施いたしました。開会式では、山本ブロック長のご挨拶、続いて淡交会総本部常任理事・総本部事務局長の長谷川義翁様、淡交会参事 近畿第二地区副地区長 大阪北支部副支部長の池田周弘様よりお言葉を頂戴しました。総本部報告では淡交会総本部組織部課長の田淵吉弘様からお話を頂戴しました。



全国委員正副助言



全国委員正副助言では、全国代表者会議 中谷憲正議長よりブロック出向のみなさんに、「前期から続く近畿第二ブロックの共通テーマ「和」を意識して活動をしていただけると嬉しいです。ブロック研修会で得た「気づき」や「学び」はご自身の青年部に持ち帰っていただき活かされてください」とのお話を頂戴しました。また、困難に直面しているコロナ禍だからこそ「失敗を恐れず創意工夫とチャレンジ精神をもって行動し続けてください」「会員間、親先生方とのコミュニケーションを自らどんどんとってみてください」など多くのご助言を頂戴しました。

全体研修

「水屋の心得」について

全体研修では、茶道裏千家教授であり、京都観光おもてなし大使、同志社大学嘱託講師、淡交会定期巡回講演会講師と多方面でご活躍されておられますランディー・チャネル宗榮先生に「水屋の心得」についてご講演いただきました。「水屋は清浄が大事」「水屋とお茶室は一続きにつながっている」「お茶は水屋の準備ができないとできない」「亭主も客もともに心構えが大事」、そして何よりも一番大切なことは「こころ」であることを教わりました。



ご講演後、ランディー・チャネル宗榮先生による盆

オンライン呈茶

オンライン呈茶では、十一のブロックからご参加されました四十五名の方々に九つのグループに分かれてブロック間交流を楽しんでいただきました。ご参加いただいた皆様には、研修会前にお送りいたしました和歌山県串本町のお菓子屋「儀平」さんのお菓子と各自ご準備いただきましたお茶を一緒にお召し上がりいただきました。また、お相伴後「お茶」のご紹介、昨年・今年度の青年部活動について意見交換を行っていただきました。全国からご参加いただいた皆様からは「地域が離れていてもオンラインであったので気軽に参加することが出来ました」などオンラインならではの感想を頂戴しました。



略のお点前でもてなしの服をいただきました。ご準備いただいたオリジナルのお茶、棗や茶杓、建水等のお道具のご説明をしていただいた後は、参加者からの「水屋を清浄に保つためにはどうすれば良いか」「苦手意識のある英語はどうすれば話せるようになるのか」などのご質問に「パニックにならずに落ち着いて行動することが大事」「しっかりと話を聞くようにすれば話ができるようになります」とご自身のご経験談も交えて楽しくお話いただきました。



閉会式

閉会式では、淡交会総本部常任理事・総本部事務局長の長谷川義翁様から総評を頂戴しました。「今回の研修会はオンライン形式ということでブロック外から大勢の皆様がご参加されました。オンラインの活用によって、情報を得やすい環境が整いましたので、次はその情報を自身のブロックや青年部に活かされ、今出来ることに最善を尽くして取り組まれてください。また、コロナが落ち着いた後には、同じ志を持った仲間と集う、対面で研修を受けることや交流を図ることが本来のあるべき姿かと思えますのでオンライン形式と対面形式の双方の使い分けを考えていただき、有効活用をされてください。」とのお話を頂戴しました。最後は主催者を代表して橋本充雄副ブロック長よりご挨拶を頂戴しました。「研修会を通して、日本人の持っている精神性『和』の心が改めて大切であること、コロナ収束後は皆様と実際にお会いして、心と心を通わせ、明るい笑顔で元気にお会いしたいと心から思いました」と締めくくられました。

初のオンラインブロック研修会 〜コロナ禍に創意工夫して〜

近畿第二ブロック研修委員会

研修委員長 徳田 一誠

六月二十六日(土)、令和三年度近畿第二ブロック研修会を初めての試みとしてZoomを用いてオンラインのみで行いました。今期、ブロックが始動した一月の企画立案の段階では、昨年から続くコロナ禍の状況下ではありましたが開催時期の六月頃には終息している事と見こして例年通り会場をお借りしての二日間、懇親会や宿泊を考慮した上で現地とオンラインを使ったハイブリット開催で行う予定としておりました。会場の下見を含めて担当様との打ち合わせや委員会内で研修内容及び業株指導の指導内容の検討を進めていきましたが三月下旬に入ってから全国的に急激な患者数の増加に伴い、開催日数を含めた内容の変更を余儀なくされ、再検討となっていました。

研修会と銘打っているのに講演と業株指導を一日だけでも現地で出来る催しを目指して準備の出来るギリギリまで保留としていましたが三度目の緊急事態宣言が発令された為、最終的にオンラインのみと決まりました。オンラインでの

るといふハブニングもありましたが短い時間とは云え、無事に研修会を終える事ができて良かったです。

研修委員会 高田 祥子

Zoomの機能を覚える事から始め、参加対象が近畿第二ブロック内の青年部会員から全国の青年部会員となったので懇親会の変わりにお呈茶の時間を設けてのブロック間交流やお菓子の手配など例年の研修会では行っていない事ばかりでした。そのため知識のノウハウや準備期間がない中、限られた人数での運営については試行錯誤の日々でした。

募集期間が短い中ではありましたが、当日は研修会に近畿第二及び全国の青年部から一〇九名の方々にご参加いただきました。総本部報告では、コロナ禍における活動やオンライン茶道学の紹介をいただき、全国委員正副助言では、リアルとオンラインでの交流・連絡の重要さを再認識して欲しい、との助言をいただきました。全体研修は、「水屋の心得」と題してランディー・チャネル宗榮先生にご講演をしていただき、水屋とお茶室の繋がりについてお客様をお迎えする心構え、道具に対する扱い、それぞれの「心」の重要性を学びました。閉会式の際の最後の挨拶時には回線が途切れ

研修委員会 吉川 亜樹

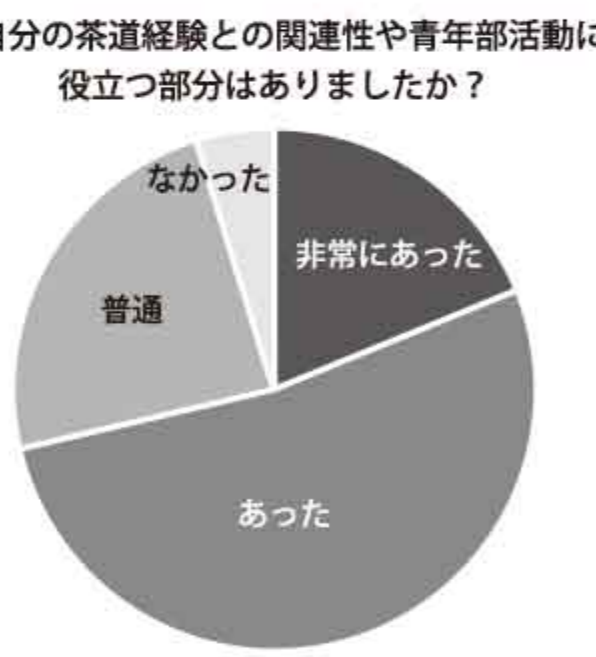
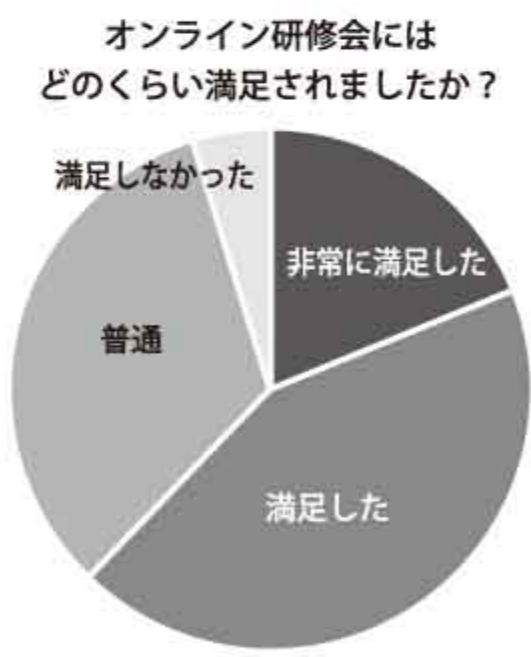
令和三年度 近畿第二ブロック研修会を令和三年六月二十六日にリモート開催

出来ました事をとっても嬉しく思いました。初めてのZoomを使用したブロック研修会でした。研修委員会も初めての試みということもあり慌しく準備をしておりましたが徳田委員長をはじめ委員会で役割分担し、ワンチームで効率良く回せたのではないかと自負しています。開会宣言から始まり、平時では当たり前に出ることが嬉しく一つ一つ有り難く感じておりました。多方面からご多忙の中、近畿第二ブロック研修会にご参加いただき感謝申し上げます。全体研修では茶道裏千家教授ランディー・チャネル宗榮先生のZoomのモニター越しの水屋の話が大変分かりやすく、更に特別にお点前も拝見し大変勉強になりました。グループ呈茶では気楽に「茶道」という共通点でお話が出来て和ませていただきました。コロナ禍ですが、前向きに出来ることはなんでもチャレンジしていこうと研修会を通じて再確認しました。

と、との助言をいただきました。全体研修は、「水屋の心得」というテーマでご講演いただきました。簡明ながら機知に富んだお言葉でご解説いただきました。最後に呈茶の時間には、グループに分かれて歓談を楽しみながら自服にて一服いただきました。事前に参加者に菓子・和歌山県串本のうすかわ饅頭儀平の「わしのしよらさん」をお送りして同じものを頂戴いたしました。話を添えました。

ブロック研修会 アンケート結果

ブロック研修会後、参加者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。頂戴しました貴重なご意見・感想の一部をご紹介します。お菓子もそれぞれに送付していただき、その作業は大変だったと思います。リアルの良いところ、リモートの良いところと再認識出来たかなと思います。「仕事を持たすので、ハイブリッドが今後は良いと思います。」「Zoom開催で懇親会が無かったのは残念でした。」



オンラインショップはこちら

式亭専用
TEL 0120-351-088
(月～金 10時～16時)

FAX 0120-889-475
(24時間受付)

株式会社 ミリエーム
〒602-0006
京都市上京区小川通寺之内上る
TEL 075-451-5111 (代表)

夏は涼しく、冬はあたたかに

はじめました。

オンラインショップ

SHIKITEI

創業四百五拾年
お抹茶の店

上林春本店

TEL 0120-233-8866
FAX 0120-233-5434

販売店 直営小売店 宇治通り上林記念船橋
京都 高島屋 地下 銘茶 売場
JR京都伊勢丹 地下 二階 銘茶 売場
東京 新宿 伊勢丹 本館 銘茶 売場
埼玉 浦和 伊勢丹 本館 銘茶 売場
石川 金沢 めいじろ 地下 一階 銘茶 売場

「お詰めは」「かんばやし」
坐忘斎宗匠御好
お濃茶 嘉辰の旨
お濃茶 五雲の白
お薄茶 好方・白
お薄茶 美明・若

鵬雲斎大宗匠御好



題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
茶道裏千家淡交会
大阪四青年部連合会
発行人
会長 伊藤 豊

ご挨拶

会長 伊藤 豊



大阪四青年部の部長をはじめとする役員の皆様には、多数の出向者を連合会に輩出していただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが日本です。当初、その感染の影響がわからなかったため、昨年は会場開催での講演会は中止といたしました。我々の使命は誇るべき日本の伝統文化を次世代へ繋げていくことだと思っています。そこで本年度の茶道教養講座はオンライン開催へと舵を切り、日本の伝統文化の良さを引き続き広めることにいたしました。

今後コロナへの注意が欠かせない日常が続くとは思いますが、次年度は感染拡大予防ガイドラインに沿った方法で会場開催を実現したいと考えています。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝を祈念しますとともに、引き続き大阪四青年部連合会へのご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

天神祭 献茶船

日本三大祭りの一つ、水都大阪の天神祭は二年続けて大阪天満宮において神事のみ、本年は最小規模での陸渡御・船渡御の催行となりました。

来年は御鳳輦への献茶ご奉仕が再開されることを願うばかりです。

令和四年担当

大阪西青年部

令和三年度 茶道教養講座

本年度は講演動画を当会ホームページに掲載し、インターネット配信により開催いたしました。講師の先生方にはご講演の事前収録にご理解賜り、ご尽力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

「宗湛日記について」

茶道史家 神津朝夫先生



2月26日 収録

神屋宗湛が生きた時代が茶道史においていかに重要な時期であったか、その人間関係に触れながら、「宗湛日記」「見聞書」についてお話いただきました。利休をはじめ、当時のお茶がどのようなものであったかを知ることができ、茶会記を読む楽しみを教えてくださいました。

大阪四青年部連合会 HP

ブログを一新して、教養講座等の情報を発信しています。ぜひ一度アクセスしてください！



「日本の庭園」

小さな島国の造形芸術から世界的な庭園様式へ

中根庭園研究所 造園家 中根行宏先生

日本有数の庭園を作られた中根金作氏の作庭哲学・技術を受け継ぎ、進化し続ける中根庭園研究所の壮大なプロジェクトについて紹介いただきました。日本は左右非対称の美の庭園として独自の文化を確立、最大の特徴は緻密な石組の技術。造園もひとつひとつの作業が茶道の割稽古のようだというお話が印象的でした。



6月3日 収録

令和3年『淡交』増刊号

特集「デジタル」で茶の湯を愉しむ

「茶の湯のデジタル活用術」のひとつとして、当連合会の「インターネット配信による茶道教養講座」をご紹介いただきました。

「歳時記と道具の取り合わせ」

今日庵業跡 泉本宗玄先生

茶事は積みあげた稽古の一つの目標。人との調和、心の和の修練をし、和敬清寂を用いて一座建立をはかる。そのためにテーマ・趣向は大きな役割がある、とお話いただきました。暦、季節、年中行事について、ご宗家のお献茶の様子や歳時にそってのしつらえやおもてなし例のスライドを用いてご紹介いただきました。



6月17日 収録

茶舗 吉川天宸洞

〒541-0062
大阪市中央区上本町西一丁目三三
TEL (06) 676-2141

鵬雲斎大宗匠御好
濃茶 吉祥の昔
薄茶 松吟の白

茶道具商

西田龍善堂

〒542-0085
大阪市中央区心斎橋筋2-2-22 TEL 090-4032-1077



9月30日収録

「写し、色絵、そして截金」
琴浦薫四代
和田桐山先生

作陶歴約五十年、影響を受けた人、茶碗との出会い、また試行錯誤しながら自身の作風、技法の確立を目指してこられた作家としての歩みについてお話いただきました。窯の構造などのお話もあり焼物の見識を深めることができ、今後の茶碗との出会いが楽しみになりました。ご講演でした。

三代宗旦、四代仙叟に焦点を当て、裏千家のできるころについてご講演いただきました。

宗旦居士の作った「今日庵」などの茶室について、また時代背景や幅広い交流関係と結び付けながら裏千家の礎が築かれたころを学びました。加賀藩前田家へ仕官した仙叟居士について、大樋焼や釜師宮崎寒雉作の好みの道具などのご紹介や、仙叟が考える茶の湯の本意についてもお話いただきました。



7月29日収録

「千家の歴史」
裏千家学園講師
谷端昭夫先生



9月1日収録

常日頃使っている「茶室」が歴史的にどのようなように成立したのか、茶室として特徴づけるものは何かを改めて学ぶことができました。草庵茶室は光が重要な建築であること、利休は縁(縁側)をなくしたこと、茶室と露地は一体のものとして成り立っていることなど、スライドを用い、わかりやすくご講義いただきました。

「茶室と露地の始まりとその理念」
大阪電気通信大学
工学部建築学科教授
矢ヶ崎善太郎先生

2022年度(令和4年)茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
530	2月9日(水)	茶掛けの書を楽しむ ～沢庵 宗彭の手紙～	愛知東邦大学客員教授 増田孝先生
531	3月10日(木)	大阪天満宮と天神祭	大阪国際大学 国際観光学科教授 笠井敏光先生
532	4月	女性の茶人はいつごろから 増えはじめたのか	裏千家学園講師 谷端昭夫先生
533	5月	茶花の心得	日本文化史研究者 武内範夫先生
534	6月	茶の禅	曹洞宗栄春寺 米澤昭博(宗昭)先生
535	7月	未定	今日庵 業躰先生
536	9月	特別展覧 茶室見学	大阪電気通信大学 工学部建築学科教授 矢ヶ崎善太郎先生
537	10月	茶道における竹	三木竹材店 三木崇司先生
538	11月	Do You Know 能?	(公財)山本能楽堂代表理事 観世流 能楽師 山本章弘先生

(註) 第536回 特別展覧は別途会費が必要です。(申込は年間会員様限定)
要項
日時 毎回講師の都合により決定し、午後7時より8時30分までとする。
会場 大阪市内の公共施設
会費 年会費 大阪四青年部会員 4,000円 一般会員 6,000円
臨時聴講(1回につき)大阪四青年部会員 1,000円 一般会員 2,000円
※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、開催方法の変更または講演を中止する場合があります。

窯場、お寺、工房へお伺いし、
現地収録を行いました



小谷義隆先生



雲林院宗碩先生



谷村丹後先生

能勢さとやま創造館にて菊炭師の小谷義隆先生より「能勢菊炭五百年の歴史」についてお話いただきました。冬場の厳しい時期に作業をする炭焼き。収録日は炭窯へクヌギを投入して五日目、製炭行程の中でも煙の多いタイミングの窯前にて臨場感あふれるご講演となりました。原木のクヌギ林もご案内いただきました。三月二十六日収録

大本山建仁寺を訪ね、塔頭霊源院住職の雲林院宗碩先生のご案内で本坊・法堂など参拝。霊源院に移り、坐禅と禅茶体験を含め「一休禅師が伝えた禅茶のころ」と題したお話をいただきました。

大和國高山(生駒)の工房にて茶筌師の谷村丹後先生より「竹と茶筌について」茶の湯には欠かせない茶筌の成り立ちや茶筌を取り巻く現在の環境などお話いただきました。茶筌製作の実演も見学いたしました。十月二十七日収録

四月十四日収録

お茶十菱

茶道具

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/jubishi/>

〒578-0983 東大阪市吉田下島15番27号
TEL 072-966-2119 FAX 072-966-9808

高槻市南松原町五十一
電話 072-675-0941
FAX 072-672-9618

樂茶碗

梅園松籟居

芦屋釜

令和3・4年度 テーマ
「癒(いやし)」



部長
中本 慎一郎

題字は鵬雲斎大宗匠筆
 発行所
 淡交会 大阪東支部
 大阪東青年部
 発行人
 部長 中本 慎一郎

本年より、大阪東青年部部長を務めております中本慎一郎でございます。「癒(いやし)」をテーマとしての活動も折り返しの時期となりますが、その前半である今年の大半において大阪府が緊急事態宣言下に置かれたことにより従来の活動はほぼ自粛という状況に追い込まれる結果となりました。

しかしながら、そうした中にもウェブやリモートを活用し、可能な限り感染を避けつつも必要な意思疎通を図ることで活動を続けてまいりました。ただスタッフや会員各位には我慢や不便の連続であったこと、心苦しく思います。

その様ななか九月に開催された委員会行事「秋を楽しむ味覚を作ろう」では遠方の菓匠へ参加者各自がオンライン接続し、リアルタイム映像を通して和菓子作りを体験致しました。次いでオンライン呈茶が催され、お茶とお菓子とひと時の交流を楽しむことが出来たこ

と、困難な状況にあっても皆が一致協力して一つの成果をなしたことは感謝とともに大変嬉しく思います。この経験を糧とし次年はより充実した活動にしたいと思っております。

最後になりましたが諸先生、諸先輩方におかれましては従来と変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

若葉茶会の準備

本年は例年執り行っておりました新春茶会に代わり、四月二十五日(日)に若葉茶会の開催を予定しておりました。道具組、点前や半東の役割、お菓子の検討など通常のお茶会の準備に加え、感染症対策グッズの準備や席入り時間の事前調整など、安全に茶会を楽しんでいただくために何ができるか、何が必要かを皆で話し合い、準備を進めておりました。しかし茶会当日が緊急事態宣言期間に重なってしまったことから、開催断念を余儀なくされました。中止となってしまったことは非常に残念でしたが、今回の経験と、先生方から受けたご指導を次回のお茶会で活かしたいと思っております。

秋を楽しむ味覚を作ろう
**オンラインを用いた
 和菓子職人さんと双方向での
 和菓子づくり**
 九月十二日(日)
 オンライン



本年の委員会行事は大阪東青年部初のオンラインでの開催でした。名古屋の老舗御菓子所・両口屋は清様のご協力のもと、着せ綿、桔梗の二種類の和菓子を作りました。画面越しではありましたが、お互いに完成したお菓子をお披露目したり、呈茶の際にはお茶銘やお詰を質問することで参加者同士、一体感を持って楽しむことが出来ました。



新型コロナウイルス感染拡大予防のため、これまでのように皆が集まっての行事が行えない中、会員同士が久しぶりに交流を持てたことに加え、こうした時だからこそその取り組みで、遠方の和菓子屋さんとの縁をつなげたことはとても貴重な体験となりました。

その他の行事
 十二月十二日(日)
 青年部総会
 リモート

これまで青年部活動にご尽力いただきありがとうございます

ご卒業
 おめでとう
 ございます

内田 直美さん
 岡本 謙さん
 鈴木 雅埜さん
 田中 勝美さん
 田中 由起さん

令和三年・四年度テーマ

「和」をもって、新たな一歩をともに!

～まずは身近な人へ想いを伝えよう～



部長 中川 雅照



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所 淡交会 大阪西支部 大阪西青年部 発行人 部長 中川 雅照

今期、大阪西青年部の部長を仰せつかっております中川雅照と申します。例年であれば、茶道を通じて、多くの事業を開催してまいりました。しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、数々の事業が中止を余儀なくされてきました。そのことから、対面での話し合いが難しい中、Webを活用して、どのようにすれば事業を開催できるか議論を重ねて、ようやく、皆様のおかげをもちまして、新たな一歩を象徴するかのよう、リモートでの和菓子作りを行うことが出来ました。今後、これまでの生活様式や働き方など変化に対応しつつ、改めて茶道を見つめ直し、日本古来の「和」の精神性を持って、大阪西青年部一同、活動を行ってまいりますので、引き続きの皆様からの御支援、御協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

第二回例会

新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令されたことで、第一回例会、新春茶会 CHA・チャ・茶が中止となりましたが、会員同士の交流を深められる行事を何かできないかと思ひ、意見を出し合い、リモートで開催することにしました。



今回はパワーポイントでアジェンダを作り画面共有することで、初めて参加される新入会員の方にもわかりやすいようにしました。また、少しでもお互いの事を知るために、「自己紹介カード」を事前に作成し、共有しました。新入会員含め、誰がどのような方なのか分かり、より交流を深めることができました。

会員交流会

新型コロナウイルスの影響が続いているため、第二回例会と同じく、リモートで開催しました。石川県にある行松旭松堂 七代目 行松宏展先生を講師としてお招きし、「おけいこばこ」でお菓子作り挑戦しました。まず、行松先生は、席主としてお菓子を依頼する時



にお店に伝えるべきことや選び方、菓子鉢や干菓子盆との取り合わせや盛り方など、更には経験談まで、幅広く話してくださいました。

その後はいよいよお菓子作り。行松先生が手元が見やすいように手本を見せて、作る時のコツを教えてくださいました。参加者は黙々とお菓子を作り、作ったお菓子を一人ずつ見ていただきつつ自己紹介を行いました。



上手に作れた人もいれば、個性豊かなお菓子となった人もいました。

行松先生の大変貴重なお話を伺うことができ、参加者からは「お菓子作りが楽しかった。」「久しぶりにリモートでも会えて嬉しかった。」「という声に加えて「お茶会に必要な知識を得ることができた。」との感想もありました。

家族で参加するなどリモート開催のメリットを生かした楽しい会員交流会となりました。



祝ご卒業

- 伊藤 薫様
岡本千加子様
荻野 由華様
西岡 由佳様
横田 陽子様

長きにわたり 青年部活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。



令和年三度 行事報告

二月十四日 第二回例会

八月二十一日 会員交流会

十二月十二日 総会・卒業茶会

リモート リモート 未定



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部
大阪南青年部

大阪府北区中崎西2-5-9 プレミスト梅田ノース 409
大阪南青年部

テーマ

「挑戦」

～未来を切り拓く～

ご挨拶

部長

橋本 充雄



本年度、大阪南青年部部長を務めさせていただいております橋本充雄でございます。平素は南青年部の諸活動にご高配を賜り心より感謝申し上げます。本年度は「挑戦」～未来を切り拓く～をテーマに青年部活動を推進しております。本年も、コロナウイルスの影響で十分な活動ができおりませんが、引き続き皆様方のお知恵とお力添えいただきながら、過去に捉

われることなく、創意工夫とチャレンジ精神をもって、事業を計画および実施していきたいと切に願います。そして、今一度原点に立ち返り、青年茶人として自己研鑽だけではなく、他者を慮る心、互いに異なる価値観を、顔と顔の見える関係において学び合い、各々が尊重しながら協調していく「和」の精神を未来へと繋げてまいります。近畿第二ブロック役員の皆様、また、四支部連合会役員の皆様には、当青年部より出向させていただいているメンバーが大変お世話になっておることに、この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。これまで通りのご高配並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第一回全体会議と新年会

3月21日(日)

於…ホテル阪神大阪

三月二十一日(日)ホテル阪神大阪にて第一回全体会議と新年会を開催いたしました。

橋本部長体制のもとで初めての行事・全体会議の場で顔合わせができたことは有意義な時間となりました。

(宮本英嗣)



上：全体写真
左：橋本部長に席中で揮毫いただきました



会員交流事業

7月4日(日)

於…京都 無鄰菴より
オンライン配信

七月四日(日)京都の山

県有朋旧別邸である無鄰菴で二年ぶりの会員交流事業を行いました。いまだ続くコロナ禍の中、感染予防も考慮した結果、現地には最低限のスタッフのみ、会員の皆様にはリモートでご参加頂く形となりました。

当日は無鄰菴の庭園コンシェルジュ様による茶室と小川治兵衛による作庭の庭園をご案内して頂き、その様子をオンライン配信して参加者と共に無鄰菴の歴史を学ぶことができました。また、茶室で点前・呈茶の時間を設け、参加者とお茶室の雰囲気を感じていただきました。

初めてのリモート開催で戸惑いもございましたが、今後の事業開催に繋げる足掛かりになれたかと思われまします。ご賛同くださった先生方、無鄰菴のスタッフの皆様、会員の皆様のご協力のおかげと感謝しております。(古寺博美)

活動紹介動画の案内と編集後記



この度、裏千家茶道愛好者に青年部活動と茶の湯の楽しさを知ってもらうため、各青年部の活動紹介動画を制作することとなり、南青年部の動画作成をいたしました。

茶道に馴染みがない方々にも興味を持って頂くために親しみやすい動画を作成しようと考えましたが、コロナ禍で新しい映像を撮影することが難しかったため、近年の活動記録写真を基にスライド形式の動画を編集することになりました。編集にあたり過去の写真を追っていくと、これまで多様な切り口で茶の湯にふれ、多くの方々と共に紡い

できた青年部活動の歴史を思い返すこととなりました。わずか2分余りの動画で全ての魅力を凝縮して紹介することは難しかったのですが、ご覧になられた方々が少しでも茶の湯に興味を持って頂くきっかけとなれば幸いです。(中山晋吾)

(動画は「茶道裏千家淡交会 青年部」のホームページからご覧いただけます)

〈紹介動画URL〉
<http://www.urasenke.or.jp/textc/tan/seinen/aboutus/block/video/1009.html>



祝ご卒業

- 白井 正将様
- 柴橋 威光様
- 寺崎 誠治様
- 水谷 幸代様
- 本村 光永様

おめでとうございます



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所
淡交会 大阪北支部
大阪北青年部
大阪府大東市扇町14-38-405
横川 正義 方

【令和4年度テーマ】

温故知新

ご挨拶

部長 税所 貴一

今期、大阪北青年部の部長を拝命しております税所貴一でございます。

平素は親先生、諸先輩方、関係者各位には私たち大阪北青年部の活動に対し多大なお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

本年度はまだコロナの影響を受け、手作り研修会や秋の茶会など多くの事業を断念せざるを得ませんでした。しかしそのような状況の中、新しい試みとして完全オンラインでの中間報告会やオンライン呈茶の開催など、これからの青年部活動の第一歩が踏み出せました。それぞれの開催にあたり尽力していただいたスタッフや会員の皆様には感謝しております。ありがとうございます。

さて、来年度のテーマは

「温故知新」とさせていただきます。

「温故知新」とさせていただきます。今年一年試行錯誤して得た新しい青年部活動の形を今後実施していくにあたり、これまでの諸先輩方が積み上げてきたことを振り返り、青年部の本質をしっかりと理解し、青年部らしい活動にしていきたいと思いをいたしました。来年度も大阪北青年部一丸となつて活動させていただきます。

親先生・諸先輩の皆様には今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中間報告会

ここまで長引くとは想像もしなかった新型コロナウイルス、当然青年部の活動も次々と中止となる中、「動かないと何も始まらない」を指針とし、8月8日の中間報告会もオンラインで開催することになりました。

開催が決定したもののどのような内容にするのか、お茶会のみなのか、講義を

交えるのか、大阪北備品紹介を兼ねるのか：会員の皆様にも意見をお願いし、抹茶・干菓子選び、送付方法など毎月のスタッフ会議で話し合いを重ね、中間報告会当日を迎えました。

当日は横川総括幹事が配信でお点前、お道具も一つ一つ見やすいように映して下さり、その場にいるような雰囲気でした。

オンラインでの活動に賛否両論ありますが、やはり「動かないと何も始まらない」。今回のような形でも中間報告会を無事に終えられたことは大きな自信となりました。

最後に、いつも青年部のために心を砕いて下さる税所部長はじめスタッフの皆様、活動ができずお会いできない中でも青年部を支えて下さる会員の皆様に深くお礼を申し上げます。

澤田 香

ご卒業

- 山路晃誉さん
- 大林郁子さん
- 門口雅子さん
- 笠井生恵さん
- 藤井敬子さん
- 坂部光代さん
- 岡村陽子さん

今まで色々とお世話になりました。ありがとうございます。

卒業会員（7名） ご挨拶

今思い返すと私が青年部に入ったのは、知人に「御点前を覚えるだけで楽しい？」と言われ、自分でも分からなくなつた時に青年部の存在を知った事でした。

先生からは青年部は特別なところと聞いており、全く未知の世界でしたが、いつでも辞められると思いつても辞められないと思いついて入会しました。

当時の天神青年部では、毎月お菓子や飲み物を準備して、それぞれの行事について皆で話し合っていて、そんな事が楽しくて参加しているうちに、皆様普通にお仕事をしながらお茶の経験もさまざまな方が集まって活動している事を知りました。

沢山の素敵な方々と出会う事が出来、さまざまな行事にも参加していく中で、一服一服のお茶を美味しいと思つて頂けるように、心を込めて点てる大切さを教わりました。今は全ての事一つ一つが大切に懐かしい思い出です。

気が付けば十数年経っており、卒業迄過ごす事が出来たのも先生方、先輩の方々、大阪四青年部連合

会の皆様、大阪北青年部の皆様のお陰です。本当に有り難うございました。青年部は卒業致しますが、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

大林 郁子

5年前、躊躇いながらホームページの入会申込枠をクリックして私の青年部活動が始まりました。初顔合わせになる総会では役員の方が優しく迎え入れてくださいました。気さくに話しかけて下さり、楽しい話を聞かせて頂いた諸先輩方のおかげで緊張も和らぎました。

短い活動期間のうえ、コロナ禍となり行事は中止が相次ぎましたが、思い出はたくさんあります。なかでも、以前訪れた食博にて受けたお呈茶で、もてなす側を務めたこと、天神祭の船渡御では肅々と点てられるお献茶を拝見させていただけたこと、そして船上から眺める庄巻の花火、介護施設の方のお茶会では茶道経験者のご婦人から涙ながらに激励の言葉をいただきました。ブロック研修会に地区大会の青年部のつどい、と

青年部ならではの貴重な経験をさせていただきました。また、大阪四青年部連合

で役を担う機会もいただきました。未熟者でしたが北支部のみならず、他支部の皆様も支えてくださり感謝いたしております。コロナウィルス蔓延防止のため茶道養講座は昨年中止になり心残りではありましたが、学んだ多くのことを今後の糧といたします。

今年参加させていただきました青年研修会では、日本各地に同志がいることを改めて実感する場でもありました。コロナ禍の制限のため語り合う場は多くはありませんでしたが、出逢えた方の存在そのものが励みとなっております。

最後になりましたが、親先生方、諸先輩方、青年部の皆様には衷心より感謝申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。

門口 雅子

令和4年度行事予定

- 3月中旬 【子ども茶道教室】
- 6月中旬 【会員手作り研修会】
- 9月中旬 【奉仕茶会】
- 10月中旬 【秋の茶会】
(生國魂神社 玉秀庵)
- 11月中旬 【親子交流会】
- 12月中旬 【定時総会】

青泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部
堺青年部

大阪市住吉区帝塚山西 2-1-20
帝塚山ガーデンズ 503
事務局 真鍋 春香 方

堺青年部

今期テーマ

「出会い・繋がり」

〜ココロひとつに〜

ご挨拶

部長 宮谷 万貴



平素より堺青年部の活動にご理解を賜り誠にありがとうございます。本年度より「出会い・繋がり」〜ココロひとつに〜というテーマで活動しておりますが、昨年に引き続きオンラインでの活動を模索する年でした。会議は基本オンライン。活動テーマに挙げていた出会いと繋がりをどのように広げていけるか、皆で知恵を絞ってきました。そして二月に萩焼岡田窯の岡田泰先生によるオンラインセミナー、十一月にはご縁があり千葉県青年部さんとのオンライン交流行事を行うことができました。

慣れない準備で大変でしたが、皆様な事情がある中で出来ることから出来る人が協力し合ってきました。本当に素敵なメンバーだと改めて感じています。なかなかリアルに会えない中で皆がココロをひとつにし、新しいカタチの出会いや繋がりができたのではないかと存じます。私自身としては、支え協力してくださっている周りの方々に感謝する一年でした。今後も状況に応じ、テーマに沿って出来ることから皆で楽しく活動していきたいと考えております。皆様方には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

二月二十八日(日)
初総会・
オンラインセミナー
「HAGI」ZOOM

萩焼、岡田窯の岡田泰先生にご講義いただきました。萩焼の誕生からその歴史をはじめ、土の種類やその配合によって作風や質感が変わることを知り、とても奥深いものなのだと感激いたしました。先生の美しい淡青釉が日本海

からインスパイアされたお話しを伺い、自然界の織り成す美しさを表現される先生の作品が多々の方々を魅了している理由の一つだということを感じました。実演ではまるで手品のように入から器の形に成形され、何度でも見せていただきたかったです。このようにして萩焼をはじめ様々な器が作られていると知り、岡田泰先生、貴重なお話を本当にありがとうございました。

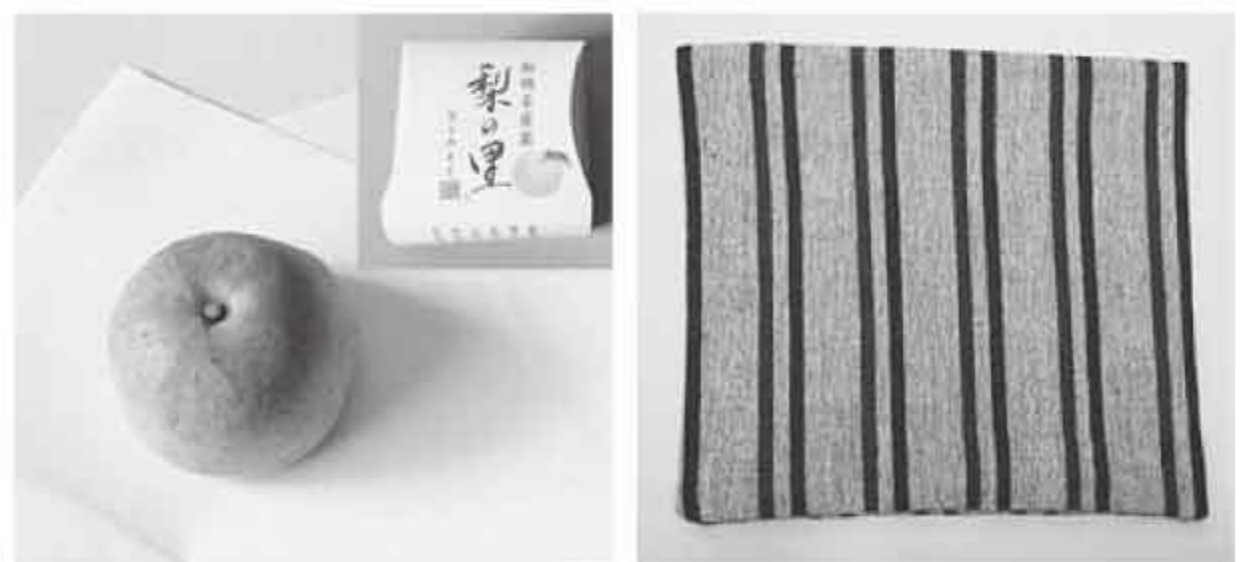


十一月三日(水・祝)
千葉県青年部との
交流行事 ZOOM



面積だけではなく活動も幅広くされていると知ることができました。次に、古袱紗作りと交流茶会を行いました。古袱紗作りではそれぞれ事前に千葉県の伝統的工芸品である銚子縮みの裂地を堺青年部に、堺からは堺更紗の文様の裂地を千葉県青年部さんに送り、千葉県青年部の宮内様のご指導のもと、とても素敵な古袱紗を完成させることができました。長く愛用していきたいと思えます。交流茶会では千葉県青年部さんからは船橋名産菓「梨の里」とミッキーマウスのマシュマロをセットでいただきました。「梨の里」はパッケージを開けるとふわりと梨の香りがして餡も柔らかく、とてもおいしいです。堺青年部からは古墳と埴輪の形の和三盆を送りました。歓談も楽しみ、ほっこり温かい時間を過ごせて大満足でした。

▼ 堺青年部から送った裂地で作った古帛紗とお菓子



▲ 千葉県青年部さんからの裂地で作った古帛紗とお菓子

ご卒業おめでとう
ございます
阿部由里子さん
ありがとうございました。

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

本店
〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel. 072(238)6188 Fax. 072(222)2728
E-mail: chabowz0313@gmail.com

茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

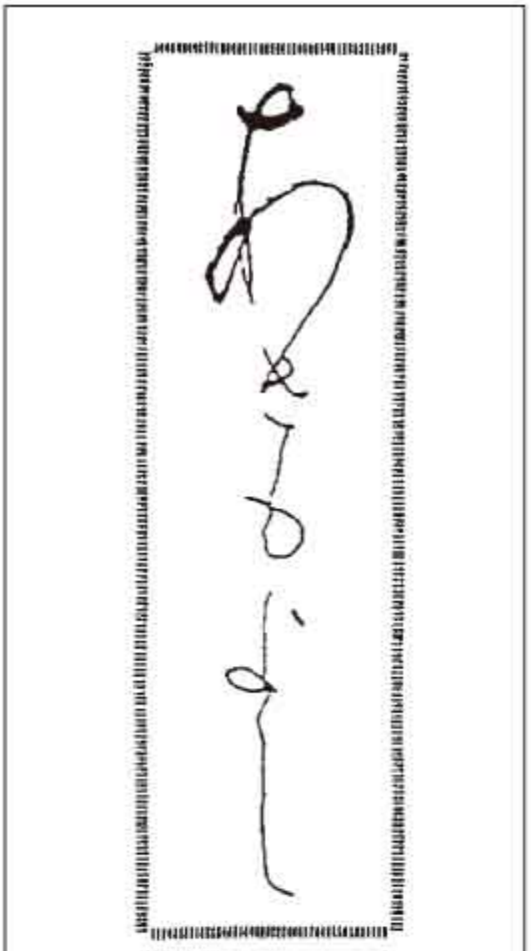
直販部：〒590-0946 堺市堺区熊野町東3丁2-26
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752
E-mail: komori1@muc.biglobe.ne.jp

今年もコロナの影響が続き、ほとんどの事業を実施できませんでした。六月に会員交流事業として陶芸体験会を開催することができました。久しぶりに会員同士の交流ができ、あらた



「ご挨拶」
部長 森下 泰寛

令和4年度 テーマ 心、豊かに



発行所
淡交会 和歌山支部
和歌山青年部
和歌山市毛見 295-26
森下 泰寛 方

私自身は初めてのろくろ体験で、最初は力加減に戸惑いながらも、指先に集中し、土の感触の心地よさを感じられる楽しいひとときでした。作品の仕上がりをお待ちにできるのも、いい

長く続いた梅雨の合間の晴れた日、海南市の山中にある「雨の森陶芸の里」にて、会員とその家族や友人と共に陶芸を楽しみました。菓子器や小皿、お茶碗などそれぞれがイメージする作品に取りかかります。幼子達はマグカップに挑戦しました。

陶芸体験会

令和4年度もコロナの影響がどこまで続くかわかりませんが、今できる最大限のことを考え、リモートもうまく活用しながら、引き続き「心、豊かに」のテーマの基、活動に取り組んでまいります。

私は点出しの担当でしたが、青年部一同、力を合わせて取り組めた事、心より感謝申し上げます。

私の最も思いで深いのは、和歌山青年部五十周年記念大会に坐忘斎お家元様はじめご宗家の皆様、総本部、親支部先生、諸先輩方、同門の皆様が多数ご参加され盛大に挙行できたことです。本大会を通じて茶道の奥深さと幅広さを実感。

卒業生からのメッセージ

お土産となりました。オンラインでの交流が続く中、久しぶりに皆さまと顔を合わせて一服お茶をいただく機会を持てたことは、物作りをする楽しさ以上に心からフレッシュできる充実した1日でした。



青年部に入会して早十数年この間にたくさんのご縁を頂いた和歌山青年部に感謝申し上げます。沢山の思い出があるのですが、なかでも紀州青年部四十周年記念茶会、残念ながら開催は出来ませんでした。和歌山支部主幹での近畿地区大会、和歌山青年部五十周年記念大会に諸先輩の思いと一緒に現役で参加出来たことです。沢山のお客様にご臨席賜り、とても貴重な経験が出来たこと、日が経つことに思いが深くなってきました。このような大事業をひとりひとりの力を集結することで成し得た青年部に在籍出来たこと、とても誇りです。また、卒業する今だからこそ素直に思うこと「和歌山青年部、最高」と。最後になりましたが、親先生をはじめ、たくさん皆様にご指導頂きましたこと心より感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

松本 隆史

青年部に入会させていただいた間の思い出は、すべてが楽しく素晴らしいものです。特に茶会などの行事の趣向や設えを考える過程での部員の皆さんの情熱、本番での機転の利いた対応などが多くありました。微力な私をいつも温かく優しく迎えてくださり、色々教えてくださいくださった部員の皆様に、感謝の思いで一杯です。本当にありがとうございました。

四十歳を過ぎてからの入会でしたが、短くも充実した七年間でした。多くの方と知り合い、茶会やバスツアーや一日体験などの行事そしてそれらの

松井 貴裕

青年部に入会させていただいた間の思い出は、すべてが楽しく素晴らしいものです。特に茶会などの行事の趣向や設えを考える過程での部員の皆さんの情熱、本番での機転の利いた対応などが多くありました。微力な私をいつも温かく優しく迎えてくださり、色々教えてくださいくださった部員の皆様に、感謝の思いで一杯です。本当にありがとうございました。



和歌山青年部のフェイスブックもぜひご覧ください

ご卒業おめでとう ございます。

参加できる機会が少なかつたのですが、アットホームな雰囲気の中休みの日のイベントに小さかった子どもたちと参加させていただいたのが良い思い出です。ありがとうございました。

ための会議や準備作業に携わらせていただき、楽しい思い出がたくさんできました。第二の青春を味わえて本当に幸せでした。

南紀

発行所
淡交会 南紀支部
南紀青年部
東牟婁郡古座川町直見 348-1
谷口 尚子 方

ご挨拶

部長 谷口 尚子



平素より、私達南紀青年部の活動にご理解賜り、誠にありがとうございます。今期も部長を務めさせていただきます。今年も、コロナウイルスの影響により、予定しておりました行事が中止になり、何も活動ができませんでした。

部員同士も会う機会がなくなり、自分たちでできる何かを見つけたかと思いつつ、なかなか考えにたどり着けずモヤモヤするばかり。難しい状況の中でも何か一つでもチャレンジでき

る事を見つけて、青年部を盛り上げていきたいと思っています。これからも皆様方には変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

テーマ 「繋がり」



南紀青年部の 行事紹介

本年も新型コロナウイルスの影響を受け、青年部活動がままならない状況です。そこで今回は南紀青年部が例年行っている活動をご紹介します。

《新年総会》

毎年一月に親支部の先生方と青年部会員が集まる新年総会が開催されます。着物で出席の方が多いので華やかです。新年総会の前には、美味しいお抹茶とお菓子をいただきます。毎年緊張しつつも、支部の先生方にご指導いただけた貴重な時間です。



《あげいん熊野詣》

平安時代の装束を着た大勢の方が、熊野古道を歩く『熊野御幸行列』の再現行事があります。私達は参加者等にお茶とお菓子を振る舞っています。



《筆供養》

例年十一月三日の文化の日、郷土の文豪・佐藤春夫の筆塚前で筆供養を行っています。使わなくなった筆を供養するとともに、佐藤春夫にお茶をお供えし、その功績を偲んでいます。



《納会》

年末、青年部会員が一年の活動を振り返るとともに、翌年の活動を計画します。この一年間の思い出話に花が咲く機会です。



令和四年度 行事予定

- ◆ 一月二十三日 新年総会
- ◆ 十月下旬 あげいん熊野詣
- ◆ 十一月三日 筆供養
- ◆ 十二月初旬 納会



来年は皆様と実際にお会いできますように。その日を心から楽しみにしています。



choShū
ちようしゅう



ちようしゅう
大阪東青年部

(大阪東青年部)

業務用乳製品卸・創作アイスクリーム

KIC北畑商事株式会社

代表取締役社長 北畑 博之

〒544-0015 大阪市生野区巽南4-9-40
TEL 06-6791-5454 FAX 06-6791-2677

(大阪東青年部)

SBI証券 **Rakuten 楽天証券**
エース証券

独立系ファイナンシャルアドバイザー

中本 慎一郎

投資家サポート株式会社
〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8
近畿財務局長 (金仲) 第365号

Tel 06-6809-7094
Fax 06-6360-7779
携帯 090-5041-6176
s-nakamoto@toushika.co.jp

(大阪東青年部)

私たちは「和と誠実」の精神で社会に貢献します



中谷機工株式会社

代表取締役社長 中谷 憲正

〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町6-8-18
TEL:06-6421-3010 fax:06-4961-5606

(大阪西青年部) <http://www.nakatani-grp.com/kiko/>

お客様の「困った!」を
システムからホームページまで
IT分野を通じて解決・支援します。



YODOQ

We keep chasing our dream

<https://www.yodoq.com/>

(大阪西青年部)

建築、建材資材の生産加工から現場納品まで関わる全ての業務を一括対応



株式会社 中川工業所

Nakagawa Industry & Logistics Co., LTD.

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町23-2
E-Mail: info@nakagawa-kgs.co.jp

(大阪西青年部) <http://www.nakagawa-kgs.co.jp>



どら焼き
フルーツ大福
金&銀のプリン
チーズタルト

和 - 水都饌菓 (わ - すいとせんか)
吹田市穂波町13-42
06-6384-3981

(大阪南青年部)



一般貨物運送事業・貨物利用運送事業

丸正運送株式会社

〒552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町3丁目3番13号
TEL 06-6584-1207

(大阪南青年部)

海苔は、日本の伝統美です。



株式会社 河幸

本社 〒577-0807 大阪府東大阪市菱屋西1-6-29
<http://www.kawako.co.jp>

(大阪北青年部)

出版・企画・編集



どりむ社

代表取締役社長 税所 貴一
住所: 大阪市北区天神西町8-17 テンマセントラルビル
電話: 06-6313-8001 (代表) FAX: 06-6313-8005
URL: <http://www.dorimu-web.com>

(大阪北青年部)

堺出島町



深清館

電話堺(24)4593番

(堺青年部)

夢と感動を

立志館ゼミナール

立志館ゼミナールは 南大阪を中心に展開する小学生から高校生までを対象とした総合学習塾です。
「わかるまで教える」という教育方針のもと 子供たちの夢と一緒に追いかけて 生徒一人ひとりの可能性をひろげています。

小2~中3対象 泉北校 TEL:072-292-6363
小2~小6対象 梅本部校 TEL:072-292-0505
高1~高3対象 三國丘部校 TEL:072-240-8855
小4~高3対象 泉ヶ丘駅前校 TEL:072-296-0100

THINK FUTURE 英語学院 小4~高3対象 三國丘校 TEL:072-240-7676

(堺青年部)

株式会社 スズキモーター和歌山

アリーナ狐島 〒640-8412 和歌山市狐島379
アリーナ岩出バイパス 〒649-6221 岩出市溝川272-1
広川店 〒643-0066 有田郡広川町名島100
アリーナ東山 〒646-0022 田辺市東山2丁目31-20
<http://www.suzuki.co.jp/dealer/suzukimw/>




(和歌山青年部)

森下産業株式会社

取扱品目: 食品原料、食品添加物
分析用機器、食品加工機械等

〒640-8117 和歌山市南細工町1番地
TEL:073-422-1138 FAX:073-425-0890

(和歌山青年部)

2022-2023 年度近畿第二ブロック役員名簿

Table with columns: 役職名, 氏名, 支部. Lists various roles like 顧問, 相談役, ブロック長, etc., and their respective regional branches.

近畿第二ブロック 各種情報発信中!

近畿第二ブロックでは、年一回発行の機関紙「同風」の他にも、ホームページやFace bookにおいても、ブロックの各種活動や、各青年部より寄せられた活動内容を、随時紹介しております。また、LT出向者が研修で学び、感じたことを報告する記事も掲載しております。

近畿第二ブロック ホームページ www.tkk-kinki2.org Face book ページ www.facebook.com/kinki2seinen

同風 機関紙命名 鵬雲斎大宗匠 題字 揮毫 納屋宗淡宗匠 発行所 茶道裏千家淡交会青年部 近畿第二ブロック 発行人 ブロック長 山本修史



利休居士道歌 II その道に 入らんとする心こそ 我身ながらの師匠なりけれ

令和三年度 ブロック交流行事 令和三年十一月七日(日)、ブロック交流行事をさかい利晶の杜で開催いたしました。

呈茶後の着物講座では、呉服屋「染織わただ」三代目和多田泰久先生より、着物のフォールとカジュアルな装いについて、お手入れ・管理方法などを教えていただきました。



淡交 テキスト まなぶ、ひろがる、楽しむ 淡交社編集部/編 毎月1冊 順次刊行 茶の湯お稽古十二月【全12巻】 12月中旬刊行開始

坐忘齋御家元御好 極上御濃茶 松花の昔 清浄の白 鵬雲斎大宗匠御好 極上御濃茶 慶知の昔 松雲の昔 喜雲 極上御薄茶 瑞泉の白 珠の白 松柏